

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. 社会福祉法人として、利用者の満足を追求する
 - 1) 「快食」「快眠」「快便」を軸に、その方にとってのさまざまな「快」すなわち日々の生活に潤いと豊かさを提供できるサービスを心掛ける。
 - 2) ご利用者(ご家族)が、安心かつ安全に暮らせる場を提供する
よりよいサービスの提供に向け、館全体でリスクマネジメントに取り組む
 - 3) 常に防災・防犯を心がけるとともに、「地震」「大雨」「強風」等いつ何時も起こりうる自然災害への備えを強化する
2. 社会福祉法人として、家族支援・地域支援の拠点となる
 - 1) 地域の高齢者が、介護のレベルにかかわらず、安心かつ安全に暮らせるよう、連雀と機能を分担するとともに、かがやきプラザ相談センターを含め、更なる連携の拡充を推進する。
 - 2) 地域への発信力を高める
岩本町および連雀を知っていただくため事業の事例を定期的に発信していく。(事例発表会・介護予防発表会・家族/利用者懇談会等)
 - 3) 千代田区社会福祉協議会と連携し、地域シニア層のボランティアの活用と育成を検討していく
3. 社会福祉法人として核となる職員の定着・安心の実現
 - 1) 職員相互が支えあえる強い組織集団をつくる
 - 2) 働きやすい職場環境を整備する
 - 3) 心身の健康管理を推進する(OJTにストレスチェックの視点を入れる)
⇒ 結果毎年、離職率ゼロを目指す
4. 社会福祉法人としての経営体制の確立
 - 1) 事業責任者は、月次毎に経営状況を確認し、経営力を養う
 - 2) 事業毎の収支構造を見極めつつ、館としての機能・特性を生かした適正な職員配置を検証し、館としての収支バランスを整え、施設全体の総合力(経営力)を醸成する。

施設の取組

1. 利用者ニーズを踏まえ、短期入所4人室を「個室的」に改修する。
2. 法人設立70周年を記念し、連雀との連動の下「感謝の集い」および「事例発表会」を開催する(11月)
3. 施設全体でリスクマネジメントに取り組む。
⇒職員個々の「気付き」の能力を醸成する。
4. 常に災害を意識し、各職員が初動できる訓練を実施する(毎月1回)
5. 各事業の収支状況(館全体の収支状況)を月次で点検する(毎月の運営会議)